

都市再生整備計画(第5回変更)

なかのじょう いせまち
中之条・伊勢町地区

ぐんまけん なかのじょうまち
群馬県 中之条町

平成23年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	なかのじょうまち 中之条町	地区名	なかのじょう いせきち 中之条・伊勢町地区	面積	55 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

『すべての人がHOTするふるさとのまちづくり』～住む人の優しさで ふるさとの温かさに会える まちを目指して～

目標1:四万・沢渡温泉郷を訪れる観光客の回遊性を増加して、散策したい街並み景観づくりを目指す

目標2:住民と観光客とがふれあうための、観光交流空間を核とした経済基盤の確立

目標3:すべての人に優しく、安全で安心して暮らせる快適な居住環境を創る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 中之条町の北部は、三国山系の高峰を望む奥行きのある自然に抱かれた上信越高原国立公園に指定され、四万・沢渡温泉郷に代表される観光資源に恵まれ、年間50万人の観光宿泊客が訪れている。また、町の南部は古くから中之条・伊勢町地区を中心に市街地が形成され、吾妻地域における政治、経済、文化、交通の中心として発展してきた町である。
- JR吾妻線中之条駅に面している当地区は、今までの基幹産業が商工業であったため、同じ町内であっても四万・沢渡温泉地区との産業連携が殆どないまま経過してきた。
- 近年、商店主の高齢化や後継者不足に加え、外部資本の大型店舗の進出や駅南の国道353号バイパス沿道への商業施設の新設等により、旧来商店街の疲弊・空洞化が更に進行している。
- 当地区の商店主を対象とした最近の調査では、温泉地との連携によるまちづくりを求める意識は高い。また昨年から、中之条駅構内に観光ガイドボランティアによる拠点が常設されるなど、町を訪れる人々とのふれあいを大切にしている。
- 町でも昨年から住民参加によるまちづくり「なかのじょう経済活性化プロジェクト」を推進中であり、まちなみ活性化部会を中心にはまちづくり意識の機運が盛り上がってきているところである。
- 今後更に進行する町の高齢化社会に向けて、高齢者をはじめとするすべての人に優しい居住環境整備は、未だ進んでいない状況である。

課題

- 当地区の既成市街地には、町全体人口の約9%が集中しているが、商業意欲の低下と共に賑わいが減少しているため、中心市街地の活性化が都市整備上最大の課題である。
- 町の重要な経済基盤である、年間50万人の観光宿泊客を中心市街地に呼び込み、その経済波及効果を地域振興の核に育てる必要がある。
- 当地区の裏道となる町道は、狭い間に段差も多くあり、観光客の回遊性の増加や住民生活の安全性にも配慮した、すべての人に優しい道路整備が急務である。
- 観光客の玄関口である駅前広場や商店街駐車場、公衆トイレ等の都市基盤における、バリアフリー化が不備なため、自然環境と共生した街並み景観に配慮した、総合的な整備が必要である。
- 当地区を代表する歴史的財産である鳥追い太鼓や郷土芸能等を新たな観光資源として活用し、住民と観光客との温かなふれあいを大切にしながら、HOTなまちづくりを推進していく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

①中之条町第四次総合計画では、「住む人には優しく、訪れる人には温かいまちづくり」のため、すべての人に優しいバリアフリー型市街地の形成を図ることとしています。
また、現在策定中の第五次総合計画では、"ふるさと"をキーワードとした地域経済の活性化に向けた、豊かで活力あるまちづくりを図るとしています。

②中之条町都市計画マスターplanでは、「自然の懐の中で、人が集い、快適に住まうまち」を将来像として掲げています。
また、旧三国街道の脇往還として栄えた地域独自の歴史と文化の賑わいを復興しながら、自然環境と共生した美しい街並み景観づくりを目指す地区と位置づけています。

③現在、関東地方整備局「観光交流空間づくりモデル事業」として、観光事業に関心が高い地域である群馬県北部のみなかみ町、六合村、中之条町の3町村において、地域の連携・交流を深めるための検討会が設置されており、より広域的な観光交流空間の形成を目指している地区あります。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基 準 年 度	目 標 値	目 標 年 度
1. 来街観光客数	人／年	当地区に立ち寄る観光宿泊客の人数	当面、四万・沢渡温泉観光宿泊客の5%の立ち寄りを目指し、観光を主とした元気なまちづくりを目指す	8,169	平成17年度	16,000	平成22年度
2. 観光ガイドボランティア案内回数	回／年	当地区を観光案内するのべ回数	観光客との温かなふれあいから得られる、当地区独自の歴史と文化への愛着と誇りを、今後のまちづくりの活力とすることを目指す	346	平成17年度	450	平成22年度
3. 新規開設店舗数	件	観光客を主とした新規店舗の開設	観光が経済基盤として確立する波及効果の表れとして、空き店舗を利用した観光物産店等が、開設されることを目指す	0	平成17年度	3	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(四万・沢渡温泉郷を訪れる観光客の回遊性を増加して、散策したい街並み景観づくりを目指す) ・裏道町道を観光客の回遊性増加や地域住民の安全性に配慮した整備を行う。</p>	基幹事業:道路(町道 山崎王子原線ほか1路線側溝整備)
<p>整備方針2(住民と観光客とがふれあうための、観光交流空間を核とした経済基盤の確立) ・住民と観光客が集う安らぎの公園づくりのために、近藤児童公園の改修を行う。 ・住民と観光客の憩いの場所づくりのために、緑豊かなふるさと広場の整備を行う。 ・中心市街地で住民と観光客とがふれあうために、地域交流館の整備を行う。 ・地域の歴史的資産の展示や文化的なイベント交流を図るために、酒蔵を整備して活用する。 ・ふるさと交流センター整備のために、予定敷地内にある既存建物を取り壊す。 ・ふるさと文化の薫り館整備のために、予定敷地内にある既存建物を取り壊す。 ・地域特産品や郷土料理等の試験販売調査を目的とした、展示販売館の整備を行う。 ・ふるさと交流センターにおいて、定期的な観光交流イベントの開催を行う。 ・駅周辺整備を推進するために、観光客や駅利用者を対象とした実態調査を行う。 ・今後のまちづくり事業のために、事業目標の達成度調査を行い、事業評価を行う。</p>	基幹事業:公園(近藤児童公園改修) 基幹事業:地域生活基盤施設(ふるさと広場整備) 基幹事業:高次都市施設(ふるさと交流センター・地域交流館) 基幹事業:既存建造物活用事業(ふるさと文化の薫り館) 提案事業:既存建物取り壊し工事(ふるさと交流センター敷地内) :既存建物取り壊し工事(旧廣盛酒造敷地内) 提案事業:ふるさと交流センター展示販売館 提案事業:観光交流イベントの開催(ふるさと交流センター周辺) 提案事業:駅周辺整備実態調査(中之条駅前) 関連事業:事業事後評価調査
<p>整備方針3(すべての人に優しく、安全で安心して暮らせる快適な居住環境を創る) ・高齢者の保健・福祉・介護の連携を図りながら、共に支え合う豊かな地域社会を構築するための計画策定を行う。</p>	関連事業:高齢者保健福祉プラン策定事業

その他

○事業終了後の継続的なまちづくりの展開

当地区では、なかのじよう経済活性化プロジェクトのまちなみ活性化部会を中心とした、継続的な活性化のための諸活動を行うほか、観光ガイドボランティア組織との連携を図りながら、まちを訪れる人が心からHOTするまちづくりを推進していく。

○美しい街並み景観形成の誘導を図る方策として

メインストリートである国道353号・145号沿道地区商店街における景観誘導のために、仮称)景観形成検討協議会を設立して、景観条例及び建築協定等を制定する気運を盛り上げる。

そのための方策として、本事業で今回整備予定のふるさと交流センターは、将来目標とするまちなみ景観に相応しいモデル建築物となるよう、地区住民や商店会及び建築・商工会関係者等の参加による委員会によって、検討を継続中である。

○交付期間中の計画の管理について

まちづくりの各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために、町行政と住民参加による継続的な事業評価や進め方の改善等について協議を重ね、その結果を積極的に広報していく。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	500	交付限度額	200	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	側溝整備	町道 山崎王子原線	中之条町	直	延長146m	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	5	5	5	5	5
	側溝整備	町道 新屋敷小原線	中之条町	直	延長113m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	4	4	4	4	4
公園	街区公園	近藤児童公園	中之条町	直	面積 3,732m ²	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	42	42	42	42	42
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
地域生活基盤施設	広場整備	ふるさと広場	中之条町	直	面積365m ²	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	24	24	24	24	24
高質空間形成施設														
高次都市施設	観光交流センタ	ふるさと交流センター地域交流館	中之条町	直	延床計441m ²	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	257	257	257	257	257
既存建造物活用事業	高次都市施設	ふるさと文化の薫り館	中之条町	直	延床計202m ²	平成20年度	平成22年度	平成20年度	平成22年度	41	41	41	41	41
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街のみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
会計										373	373	373	0	373

173

日記

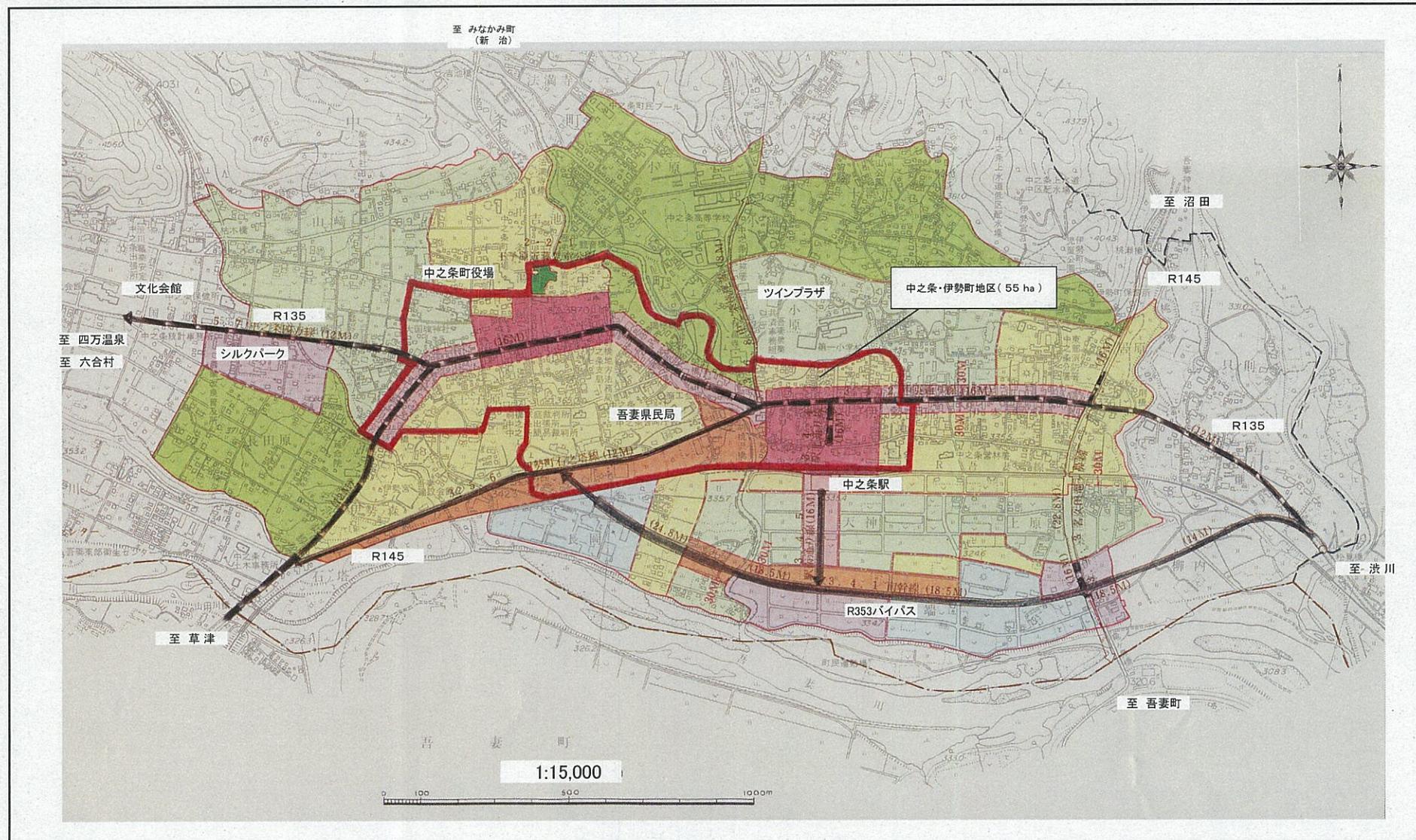
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	既存建物取り壊し工事	中之条王子原跡地	中之条町	直	延床1162㎡	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成18年度	9	9	9	9	9
	旧廣盛酒蔵	中之条町	中之条町	直	延床 268㎡	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	4	4	4	4	4
	ふるさと交流センター展示販売	中之条王子原跡地	中之条町	直	延床 210㎡	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	108	108	108	108	108
事業活用調査	観光交流イベントの開催	ふるさと交流センター	中之条町	直	年間3回	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	4	4	4	4	4
	駅周辺整備実態調査	中之条駅前	中之条町	直		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	2	2	2	2	2
まちづくり活動推進事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	127	127	127	127	127
										合計(A+B)				500

合計(A+B) 500

(参考)閏連事業

都市再生整備計画の区域

なかのじょう 中之条・伊勢町地区(群馬県中之条町)	面積 55 ha	区域 大字西中之条字山崎の一部 大字中之条町字新田、伊勢ノ森、王子原の一部 大字伊勢町字小原、伊參の一部
------------------------------	-------------	--



中之条・伊勢町地区(群馬県中之条町) 整備方針概要図

目標	『すべての人がHOTするふるさとのまちづくり』 ～住む人の優しさで ふるさとの温かさに会える まちを目指して～	代表的な指標	来街観光客数 (人)	8,169 (H18年度) → 16,000 (H22年度)
			観光ガイドボランティア案内回数 (回)	346 (H18年度) → 450 (H22年度)
			新規開設店舗数 (件)	0 (H18年度) → 3 (H22年度)

